

講義名	オ)経営統計学		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
<b>主題と概要</b>			
<p>本講における経営統計とは、競合他社と自社の財務内容を示す統計とそれに基づいた収益性、成長性、安全性などを示す一連の分析的指標および自社市場の生産、出荷、在庫、販売などの状況さらに海外、国内の景気動向を表す統計結果とします。</p> <p>本講では経営課題のひとつである「効率化」に対して経営統計をどのように利用するのが論じます。</p>			
<b>到達目標</b>			
<p>受講生は組織に於いて正しいデータの扱い方と統計結果の表示方法、正しい統計の判断ができることを目標とします。これによって、将来は優れた経営判断のサポート人材になることを目指します。</p>			
<b>提出課題</b>			
経営者をサポートする人材に必要な素養について課題回答を求めます。			
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
課題の講評を授業中に行います。			
<b>評価の基準</b>			
提出課題と期末テストの内容・回答を総合的に評価します。			
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
良い成績を修めるには、ノートを書くことが必要です。配布資料上はノートを書くためにラフプリントなどを活用するのはよいことです。			

<b>教科書</b>					
.使用しない。					
<b>プリント資料及び参考文献</b>					
講義内容は事前にRYUKA Portalの講義配布資料に保存して学生と共有します。					
<b>授業計画</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>データサイエンスと統計学</li> <li>データサイエンスに求められるスキルや知識</li> <li>データ解析ビジネス</li> <li>ビッグデータと機械学習</li> <li>POWサイクル</li> <li>統計分析の概念1（変数の選択）</li> <li>統計分析の概念2（変数の比較）</li> <li>統計分析の概念3（可視化1）</li> <li>統計分析の概念4（可視化2）</li> <li>統計手法1（相関関係）</li> <li>統計手法2（時系列）</li> <li>統計手法3（予測とモデル評価）</li> <li>分析結果の評価</li> <li>政策と統計</li> <li>まとめ</li> </ol>					
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>					
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）					
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>					
授業で使う資料やURLは、RYUKA Portalの「講義連絡」にて事前に配布しますので、予習・復習に利用してください。					
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>					
経営者をサポートする者、あるいは経営者自身が、経営方針の策定、つまり経営資源の配分を行うにあたって、判断の根拠となる統計資料を作成できる能力を養う。					
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>					
学習の進捗を確認するため、Responを利用して復習テストを行います。					
<b>実務経験の有無及び活用</b>					
実務経験20年あり （プログラマー システムエンジニア ICTコンサルタント） ICTによる組織の問題解決に必要な事前を授業内で解説します。					
<b>備考</b>					
社会福祉士の統計分野を包括しています。					